

第6章 環境リーダーとくしま

第1節 関西広域連合などの広域的な環境保全対策

1 現状と課題

2010年12月に発足した関西広域連合に本県も構成メンバーとして参加しており、広域環境保全分野でも「温室効果ガス削減のための広域取組」、「府県を超えた鳥獣保護管理の取組」、「関西広域環境保全計画の策定・推進」など、関西広域連合のスケールメリットを活かした広域的な取組を展開しています。

また、四国4県においても「四国地球温暖化対策推進連絡協議会」において連携した普及・啓発活動に取り組む、また「四国地域エネルギー・温暖化対策推進会議」による産学民官での取組なども推進しています。

このように、環境問題の中には、府県市の枠を超えて広域的な取組を進めることで、より高い効果が得られることもあり、本県ではこうした広域的に連携した取組を進めているところです。

2 連携した取組

(1) 関西広域連合（広域環境保全局）における取組

平成23年度に策定した「関西広域環境保全計画」に基づき、府県域を超えて様々な取組を展開してきましたが、平成28年度末の計画期間終了を受け、必要な広域環境保全施策のさらなる推進が図られるよう、環境分野での広域的課題を整理し、改めて「関西広域環境保全計画」を策定しました。

○関西広域環境保全計画

この計画は、西暦2030年の「関西の目指すべき姿」を見据え「関西を環境先進地域とする」ことを目指す平成29年度から31年度までの3か年の計画です。

【施策の方向性】

- ・低炭素社会づくり（地球温暖化対策）
- ・自然共生型社会づくり（生態系保全）
- ・循環型社会づくり（資源循環対策）
- ・持続可能な社会を担う人育て（環境学習の推進）

【取組の例】

○カワウ対策

広域的に移動し被害を与えているカワウについて、モニタリング調査等を踏まえた「カワウ広域保護管理計画」を策定し、広域実施で効果のある被害対策等を推進しています。



カワウ



テグス張り

○住民・事業者への普及啓発（関西エコスタイルの推進、関西エコオフィス宣言事業者の募集、カーボンオフセットなどの国の既存制度の活動・広報など）

○次世代自動車普及に向けた啓発（EV・PHVの充電器やFCVの水素ステーションの位置情報の広報など）

○再生可能エネルギーの積極的な導入促進 など

(2) 四国4県の連携した取組

四国4県では、連携事業として「四国地球温暖化対策推進連絡協議会」において、県民の節電・省エネ意識の醸成を図るため、ポスター図案を公募するなど、4県が連携した温暖化対策を展開しています。



クールビズ・ウォームビズポスター

また、「四国圏カーボン・オフセット推進協議会」において、カーボン・オフセットの普及推進に向けた取組も実施しています。

(3) 関西・四国の中の徳島

○産業廃棄物収集運搬車両の合同検問の実施

兵庫県と連携し、大鳴門橋を挟んだ淡路側と鳴門側のインターチェンジ出入口付近で、産業廃棄物収集運搬車両の合同検問を実施しました。